

令和6年度 事業計画書

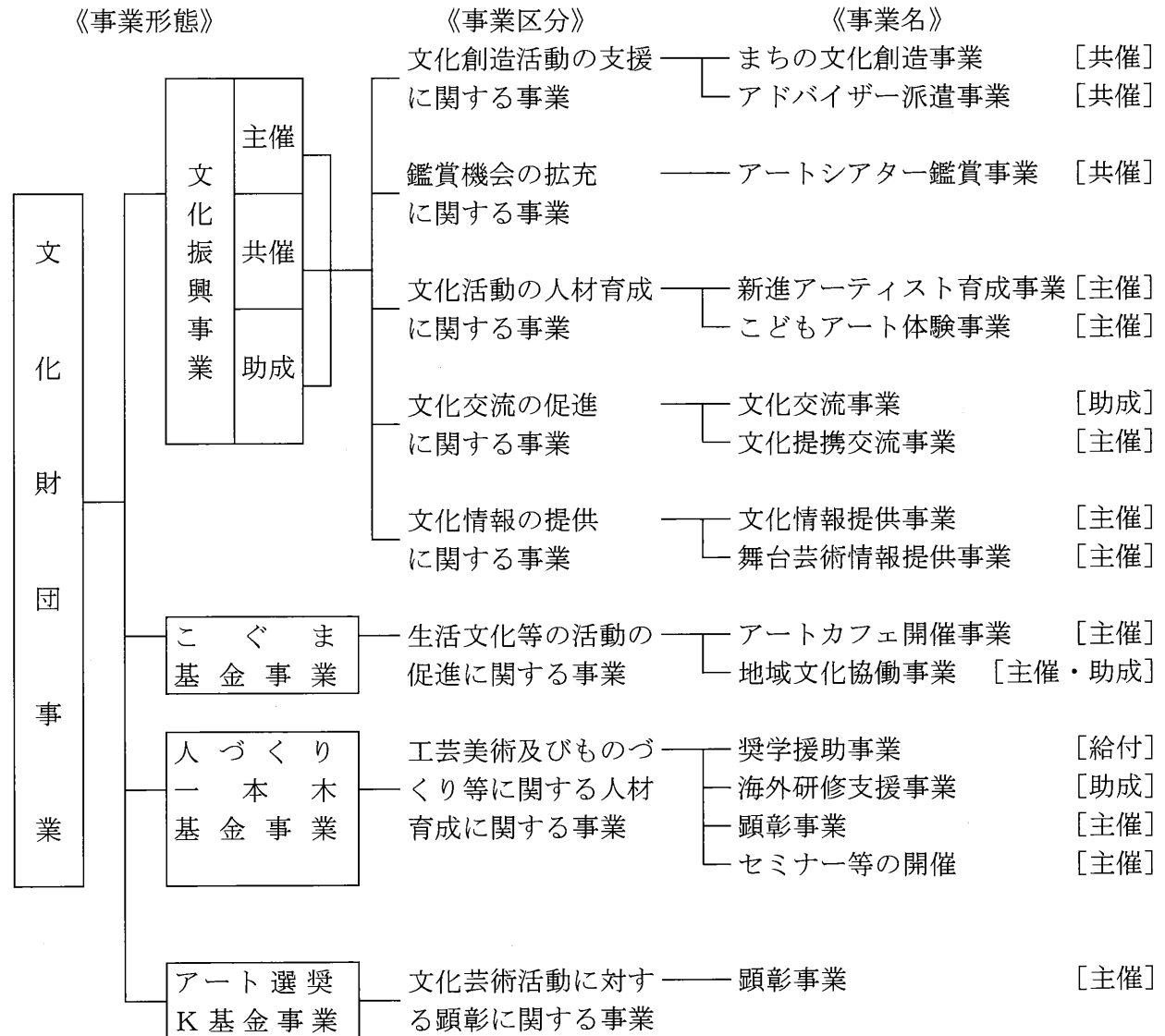
公益財団法人北海道文化財団

I 基本方針

北海道文化財団は、平成6年11月に設立以降、これまで、道民の自主的な文化活動の支援、文化鑑賞機会の拡充、さらには人材の育成等幅広い文化の振興に関する事業をおこなうことで、多様な地域文化を創造するとともに、すべての道民が文化恵沢を享受することができる地域社会の実現をめざしてきた。

令和6年度においては文化振興事業、こぐま基金事業、人づくり一本木基金事業、アート選奨K基金事業を有機的に活用し、全道を対象に効果的な事業展開を進めていく。

II 北海道文化財団事業体系



Ⅲ 文化財団事業

1 文化振興事業

(1) 文化創造活動の支援に関する事業

ア まちの文化創造事業

【20,332千円 (20,385千円)】

地域住民による、自主的で創造的な公演や展示等の発表に対し、経費の負担や助言等を行い、自主的な文化活動を促進するとともに、文化活動による地域づくりの機運の醸成を図る。

○ 27事業 (18市町村)

イ アドバイザー派遣事業

【3,639千円 (3,586千円)】

地域の文化団体等からの要請に基づき、文化活動に関する専門的な知識や経験を有するアドバイザーやプロのアーティストを派遣し、事業企画や舞台技術に関する指導・助言、舞台表現に関するワークショップ等を行い、課題を解決するなど、地域における文化創造活動を支援する。

○ 舞台技術アドバイザー 1件 (1市町村)

○ 舞台表現アドバイザー 14件 (8市町村)

(2) 鑑賞機会の拡充に関する事業

アートシアター鑑賞事業

【26,436千円 (26,436千円)】

当財団が選定した公演や、各市町村や地域の文化団体等が連携して企画する公演に対し、経費の負担や助言等を行い、優れた芸術鑑賞の機会を提供することにより、文化の裾野の拡充を図る。

○ 道内アーティストプログラム 6公演 (6市町村)

○ 道外アーティストプログラム 25公演 (23市町村)

○ HAFセレクトプログラム 5公演 (5市町村)

(3) 文化活動の人材育成に関する事業

ア 新進アーティスト育成事業

【14,219千円 (14,238千円)】

次代を担う劇作家や優れた作品を発掘し、道内の演劇創作活動の活性化を目的とした「北海道戯曲賞」の実施や大賞受賞作品の上演、中学、高校、大学演劇発表を支援することにより、道内における文化活動のレベルアップを図る。

○ 北海道戯曲賞及び中学・高校・学生演劇等 7件程度

イ こどもアート体験事業

【5,661千円 (5,642千円)】

国内外で活躍するアーティストを道内の地域に複数回派遣し、子どもたち(児童・生徒)を対象とした体験型ワークショップや、共同制作、発表を行うことで、豊かな創造力、表現力の育成を図る。

○ 3件 (3市町村)

(4) 文化交流の促進に関する事業

ア 文化交流事業

【9,356千円(9,356千円)】

芸術分野で活動する道内の文化団体等が、道外や海外で交流を行う事業や、道外や海外の文化団体等を招へいして交流を行う事業に対して助成を行い、道内の文化活動の活性化を図るとともに、道外及び海外とのネットワークづくりを図る。

- 発信交流事業 10件(2市町村)
- 招へい交流事業 2件(2市町村)

イ 文化提携交流事業

提携交流では、積極的な発信活動を行ってきている実演家団体等を招へいし、さまざまな領域で相互の理解と交流が深まる地域間交流を促進する。

- 3件程度(落語「北芸亭」札幌公演 他)

(5) 文化情報の提供に関する事業

ア 文化情報提供事業

【4,396千円(4,396千円)】

当財団が実施する各事業の内容や地域において自主的に企画する文化活動の参考となる情報を、情報誌「北のとびら」やホームページを通して提供するほか、財団の事務所に「文化情報ライブラリー」や美術作品等を紹介する「アートスペース」を設る。

イ 舞台芸術情報提供事業

【961千円(961千円)】

道内で実施可能な音楽、演劇、舞踊等の公演の最新情報を提供する「北海道舞台芸術情報フェア」や、市町村や地域の文化団体等と情報を交換する「舞台芸術ネットワーク会議」を開催する。

- 北海道舞台芸術情報フェア
- 舞台芸術ネットワーク会議

2 こぐま基金事業

(1) アートカフェ開催事業

【500千円(500千円)】

暮らしの中にアートを身近なものに感じてもらうこと、アートを通して人と人との出会い、豊かな時間を持つことを目的に、道内外で活躍するアーティスト等をゲストに迎え、参加者とアーティストが身近な距離で交流するトークイベントを開催する。

- 1事業

(2) 地域文化協働事業

【4,690千円(6,190千円)】

生活文化等の分野で活動する団体等と当財団との協働により、各種事業を実施し、地域文化の一層の創造、発展を図る。

- 4事業程度

3 人づくり一本木基金事業 (長原實・スチウレ・エング氏から人づくり基金事業) 【9,300千円 (11,000千円)】

長原實氏並びにスチウレ・エング氏からの指定寄附を基に、工芸美術及びものづくり等の分野において、次代を担う人材を育成し、北海道における創造活動の振興発展に資するため、道内在住又は道内出身者を対象に、奨学の援助、研修の支援、顕彰並びに人材育成に関する事業を実施する。

- 奨学援助事業 13名
- 海外研修支援事業 1名程度
- 顕彰事業「ものづくり一本木選奨」 3件程度
- 人材育成事業 ものづくり交流セミナーの開催 など

4 アート選奨K基金事業 【500千円 (500千円)】

磯田憲一氏からの指定寄附を基に、本道の文化の振興発展において「敬愛」すべき役割を果たしたと認められる個人や団体を顕彰する。

- アート選奨K基金賞 2件程度

IV 執行体制

